

バジルの里 NO 103

最年少棋士「藤井聡太」

今、藤井聡太という名前を聞いたたり、みたりしない日はありません。彼は16年に最年少の14歳2か月で5人目の中学生棋士として四段デビューしました。将棋界では四段になって、初めて一人前の棋士として認められます。6級から始まり、初段二段と進みやつと三段になると、30人前後の三段同士で半年の間に19戦を戦い、上位2人だけが四段になれます。年齢制限もあり、多くの人が棋士になれないまま退会します。こんな厳しい三段リーグで彼は一期抜けで四段になり29連勝で世間を驚かせ、17歳でタイトルホルダーになってしまいました。しかも短い時間で2つ目のタイトルも獲得し、最年少の八段にもなっています。

彼は5歳の夏に将棋を覚え、冬には将棋教室に通い本格的に習い始めます。その将棋教室は他と違い、礼儀作法・駒落ち定石重視・詰将棋重視でした。彼はここで出会った詰将棋に才能を開花させます。凄く速さで実力を上げ、12歳でチャンピオン戦優勝・日本一に輝き以来優勝を続けている。これが彼の終盤戦での強さに繋がっている。今後どのように成長していくのか、羽生さんを超える記録を作っていくのか、今天才の成長とともに、同じ時代を生きる幸せを感じる。(大貫 豊彦)



みたけ会食会バス旅行の思い出その3

今月もバス旅行の思い出を振り返ってみてみたいと思います♪第3弾です！

① 神代植物園バラ園と深大寺散策

(平成27年5月・令和元年5月)

最初に行ったのは平成27年5月でした。皆さんに大変好評で、4年後に再度訪れた場所です♪両日とも晴天に恵まれ、汗ばむくらいの陽気でした。バラフェスタが開催されており、一面バラの甘い匂いに包まれていました。一面バラの世界は感動的な美しさで、大変思い出深い景色となりました。

また、新緑の中で皆で食べるお弁当、その後の散策でいただいた深大寺名物のお蕎麦やソフトクリーム等、沢山美味しいものもいただきました。

帰りには、みたけでは恒例の三芳パーキングでのお買い物も堪能し、充実した一日を過ごしました。

季節を感じ、心安らぐバス旅行になったのではないのでしょうか？

「口ナ禍が落ち着き、またバラ園に皆さんで行きたいですね、



✿ シルバー川柳

☆入選作品の一部を紹介させていただきます♪



・ 脳ボケにストップ。細胞ないかしら

・ さがしものさつき見つけてごっこ置いた

・ 家の嫁後ろ姿はフナッシー

・ おばあちゃん嫁のヒソヒソ良く聞こえ

・ テジカメのエサは何だと孫に聞く

・ ホームとは人間模様の万華鏡

・ 昔白髪まっぴらごめんと妻茶髪

・ 膝以外笑つことなし独り者

・ このオレにあたかいは便座だけ

・ お医者様。パソコン見ずにオレを見て

・ その昔惚れた顔かど？目をこすり

☆いかがですか？第3弾もあるかも♪

～ふれあい・いきいきサロン 開催日のご案内～自由にご参加いただけます（一部 予約必要）～

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13 なでしこガーデン 竹間沢公民館前 10:00～12:00	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27 なでしこガーデン 竹間沢公民館前 10:00～12:00	28	29	30	

※他のサロン・会食会の開催等に関しましては、今しばらくお待ちください。

☆なでしこガーデン

朝晩涼しくなってきました。だいぶ秋を感じるようになりましたね。

10月13日(火)、27日(火)に、花殻摘みなどの軽作業を行います。27日には、花の苗が沢山届きます。興味のある方は是非ご参加下さい♪

☆歳時記 10月(神無月)

神様が出雲に集まり、諸国に神様がなくなるため「神の無い月」に。神様が集まる泉尾では「神在月(かみありづき)」といわれます。中秋節には「月餅」を食べることが伝統的風習です。「月餅」は吉祥・団圓の象徴であり、中秋節には家族や友人同士集まり、家庭円満・健康などの願いを込めて夜空の月を眺めながら、月餅とお茶を楽しみます。また、中国には月にまつわる神秘的な物語や詩や言い伝えが数多く残されています。

十五夜はあまりすっきりしない夜空であることが多いのに対し、十三夜の夜は晴れることが多いので、「十三夜に曇り無し」という言葉もあります。

10月の誕生花

秋桜(コスモス)、あさみ、けいとう、りんどう、金木犀(きんもくせい)
マリーゴールド、菊、シロツメクサ、紫苑(シオン)



問い合わせ：申込先・三芳町社会福祉協議会

049-258-0122 / FAX 049-258-0180